

## 平成24年度 温室効果ガスの排出状況

「地球温暖化対策の推進に関する法律」は、平成10年に社会経済やその他の活動による温室効果ガスの排出の抑制等を促進するため制定された法律で、町でもこの法律に基づき平成24年度に「地球温暖化対策実行計画」を策定し、毎年公共施設の温室効果ガスの排出量をお知らせすることとしています。

この計画では、平成21年度の温室効果ガス排出量を基準として平成28年度までの5年間で6%の削減を目標としています。

### 【実行計画による目標値】

対象温室効果ガス	基準年度排出量 (平成21年度)	削減目標	目標年度排出量 (平成28年度)
二酸化炭素(CO2)	2,815,475kg-CO2	6%	2,646,547kg-CO2

### ○排出量増加の要因と対策

平成21年度と平成24年度を比較して、電気以外の使用消費量が増えていますが、その年の気候変動により燃料消費の影響を受けやすい面があり、平成24年度は厳冬であったことが増加した要因とみられます。

また、二酸化炭素排出量の大きなウエイトを占める電気で見ると、消費量は39,158kwh減っているものの排出量を算出する係数が増えたことにより、結果として二酸化炭素排出量が10.8%増加しています。

現在、電力会社の原子力発電所停止により化石燃料使用などの影響により、排出係数が高い状態であり、現状では削減目標の達成が難しい状況となっておりますが、今後一層、省エネ、節電を心掛けて地球環境の保護に努めていきます。

### 【温室効果ガスの総排出量】

平成21年度(基準年度)					
燃料等	使用消費量		排出係数	二酸化炭素排出量 (kg-co2)	割合
ガソリン	19,874	ℓ	2.32167	46,141	1.6%
灯油	151,743	ℓ	2.48949	377,762	13.4%
軽油	98,559	ℓ	2.61924	258,150	9.2%
A重油	192,000	ℓ	2.70963	520,249	18.5%
LPガス	2,374	m <sup>3</sup>	1.67102	3,967	0.1%
電気	3,716,411	kwh	0.433	1,609,206	57.2%
合計				2,815,475	100%

平成24年度						H21二酸化炭素排出量との対比	H21使用消費量との対比
燃料等	使用消費量		排出係数	二酸化炭素排出量 (kg-co2)	割合		
ガソリン	21,936	ℓ	2.32167	50,928	1.7%	110.4%	110.4%
灯油	158,962	ℓ	2.48949	395,734	12.9%	104.8%	104.8%
軽油	101,812	ℓ	2.61924	266,670	8.7%	103.3%	103.3%
A重油	205,000	ℓ	2.70963	555,474	18.2%	106.8%	106.8%
LPガス	2,432	m <sup>3</sup>	1.67102	4,064	0.1%	102.4%	102.4%
電気	3,677,253	kwh	0.485	1,783,468	58.4%	110.8%	98.9%
合計				3,056,338	100%	108.6%	

※排出係数は、電気やガソリン等のエネルギー種別に政令等で定められた値です。

(二酸化炭素排出量＝二酸化炭素排出係数×エネルギー消費量)

※電気の排出係数は、毎年、各電力会社の水力・火力・原子力などの発電方法の割合により変動します。

〔電気排出係数：平成21年度「0.433」→平成24年度「0.485」、(0.052、12%増)  
電気使用量：平成21年度3,716,411kwh→平成24年度3,677,253kwh(39,158kwh、1.1%減)〕